

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

| | | | | | | | | | |
|----------------|-------------------------------------|-------------|----|---------|---|------|---------------------|-----|----|
| 授業科目名 科目コード | 財政学 (Public Finance) 2037123-091 | | | | | 担当教員 | 牧野 智一 (マキノ トモカズ) | | |
| 科目区分 | 専門科目 | 必修・ 選択区分 | 選択 | 単位 数 | 2 | 配当年次 | 2年次 | 開講期 | 後期 |
| 科目特性 | 資格対応科目／知識定着・確認型 AL | | | | | | | | |

| |
|---|
| ① 授業のねらい・概要 |
| <p>財政とは、国家あるいは政府の歳入・歳出活動のことである。財政には、3つの基本的な役割があり、それは、①資源の効率的配分、②所得の再分配、③経済の安定化である。財政学は、これらの財政が果たすべき役割を歳入・歳出活動を通して、いかにして達成するかを考える学問分野である。</p> <p>本講義では、財政が及ぼす経済効果について学習する。本講義の最終的な目的は、財政に関する理論についての知識を身につけた上で、わが国の財政が抱えている諸問題について、自らの判断で考察する能力を養うことである。</p> |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連 |
| <p>職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力を養う。</p> |
| ③ 授業の進め方・指示事項 |
| <p>講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。</p> |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目 |
| <p>「マクロ経済学」「ミクロ経済学」の知識を有すること。</p> |
| ⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安 |
| <p>(i) 授業で取り上げた財政の役割や欠陥について他者に適切に説明でき、政府の役割と市場の役割を関連付けて他者にある程度説明できる。</p> <p>(ii) 資源の効率的配分について経済学の知識を用いて適切に説明でき、資源の効率的配分に関する分析がある程度できる。</p> <p>(iii) 所得の再分配について経済学の知識を用いて適切に説明でき、所得の再分配に関する分析がある程度できる。</p> <p>(iv) 経済の安定化について経済学の知識を用いて適切に説明でき、経済の安定化に関する分析がある程度できる。</p> |
| ⑥ テキスト（教科書） |
| <p>兼子良夫編著（2018）『財政学』税務経理協会</p> |
| ⑦ 参考図書・指定図書 |
| <p>竹内信仁編著（2007）『スタンダード財政学 第2版』中央経済社 竹内信仁編（2013）『スタンダードミクロ経済学』中央経済社、</p> |

| ⑧ ループリック | | | | | |
|---------------------------|--|---|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 評価項目 | 評価基準 | | | | |
| | S 到達目標を越えたレベルを達成している | A 到達目標を達成している | B 到達目標達成にはやや努力を要する | C 到達目標達成には努力を要する | D 到達目標達成には相当の努力を要する |
| (i) 財政 (政府) の役割と欠陥についての知識 | 授業で取り上げた財政の役割や欠陥について、政府の役割と市場の役割を関連付けて他者に適切に説明できる。 | 授業で取り上げた財政の役割や欠陥について他者に適切に説明でき、政府の役割と市場の役割を関連付けて他者にある程度説明できる。 | 授業で取り上げた財政の役割や欠陥について他者に適切に説明できる。 | 授業で取り上げた財政の役割や欠陥について他者にある程度説明できる。 | 授業で取り上げた財政の役割や欠陥について他者にほとんど説明できない。 |
| (ii) 資源の効率的配分についての知識と分析能力 | 資源の効率的配分について経済学の知識を用いて適切に説明でき、資源の効率的配分に関する分析が適切にできる。 | 資源の効率的配分について経済学の知識を用いて適切に説明でき、資源の効率的配分に関する分析がある程度できる。 | 資源の効率的配分について経済学の知識を用いて他者に適切に説明できる。 | 資源の効率的配分について経済学の知識を用いて他者にある程度説明できる。 | 資源の効率的配分について経済学の知識を用いて他者にほとんど説明できない。 |
| (iii) 所得の再分配についての知識と分析能力 | 所得の再分配について経済学の知識を用いて適切に説明でき、所得の再分配に関する分析が適切にできる。 | 所得の再分配について経済学の知識を用いて適切に説明でき、所得の再分配に関する分析がある程度できる。 | 所得の再分配について経済学の知識を用いて他者に適切に説明できる。 | 所得の再分配について経済学の知識を用いて他者にある程度説明できる。 | 所得の再分配について経済学の知識を用いて他者にほとんど説明できない。 |
| (iv) 経済の安定化についての知識と分析能力 | 経済の安定化について経済学の知識を用いて適切に説明でき、経済の安定化に関する分析が適切にできる。 | 経済の安定化について経済学の知識を用いて適切に説明でき、経済の安定化に関する分析がある程度できる。 | 経済の安定化について経済学の知識を用いて他者に適切に説明できる。 | 経済の安定化について経済学の知識を用いて他者にある程度説明できる。 | 経済の安定化について経済学の知識を用いて他者にほとんど説明できない。 |

| ⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法 | | | | | | | | |
|------------------------------------|------------------|------|----|------|-------|-----------|-----|------|
| 学習到達目標（評価項目） | 試験 | 小テスト | 課題 | レポート | 発表・実技 | 授業への参加・意欲 | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | 70% | | | | | 30% | | 100% |
| (i) 財政（政府）の役割と欠陥についての知識 | 15% | | | | | 7% | | 22% |
| (ii) 資源の効率的配分についての知識と分析能力 | 20% | | | | | 8% | | 28% |
| (iii) 所得の再分配についての知識と分析能力 | 20% | | | | | 8% | | 28% |
| (iv) 経済の安定化についての知識と分析能力 | 15% | | | | | 7% | | 22% |
| フィードバックの方法 | 試験結果の得点分布等を公表する。 | | | | | | | |

| ⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等） |
|--|
| 昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。 |

| ⑪ 授業計画と学習課題 | | | |
|-------------|----------------------|------------------------------|-----|
| 回数 | 授業の内容 | 授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物） | |
| 1 | 財政学とは | ミクロ経済学とマクロ経済学の知識の見直し | 60分 |
| 2 | 市場の欠陥 | 市場の役割と欠陥についての理解 | 60分 |
| 3 | 政府の役割 | 市場の欠陥を補う政府（財政）の役割についての理解 | 60分 |
| 4 | 資源の効率的配分①（公共財とは） | 公共財の性質と種類についての理解 | 60分 |
| 5 | 資源の効率的配分②（公共財の最適供給） | 公共財の最適供給の概念の理解 | 60分 |
| 6 | 資源の効率的配分③（公共財の自発的供給） | 公共財の自発的供給についての理解 | 60分 |
| 7 | 資源の効率的配分④（独占市場とその弊害） | 独占市場とその弊害についての理解 | 60分 |
| 8 | 資源の効率的配分⑤（自然独占） | 自然独占とその弊害についての理解 | 60分 |
| 9 | 資源の効率的配分⑥（価格形成原理） | 限界費用価格形成原理と平均費用価格形成原理についての理解 | 60分 |

| | | | |
|----|----------------------|---------------------------|-----|
| 10 | 所得の再分配①（公平の概念と分配論） | 公平の概念と分配論についての整理 | 60分 |
| 11 | 所得の再分配②（日本の所得税とその問題） | 日本の所得税の仕組みと問題点についての理解 | 60分 |
| 12 | 経済の安定化①（45度線分析） | 45度線分析における財政政策の効果についての理解 | 60分 |
| 13 | 経済の安定化②（IS曲線とLM曲線） | IS曲線とLM曲線についての理解 | 60分 |
| 14 | 経済の安定化③（IS-LMモデル） | IS-LMモデルによる財政政策の効果についての理解 | 60分 |
| 15 | まとめ | 各回の講義内容の整理と理解 | 60分 |

| | |
|--|--|
| ⑫ アクティブラーニングについて | |
| 知識定着・確認型ALを採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。 | |

※以下は該当者のみ記載する。

| |
|--------------------|
| ⑬ 実務経験のある教員による授業科目 |
| 実務経験の概要 |
| |
| 実務経験と授業科目との関連性 |
| |